

OPM トラック書式

トラックヘッダ	チャンネル
A	MML トラック - OPM#1 チャンネル 1 (I/O ポート 700H-707H)
B	MML トラック - OPM#1 チャンネル 2
C	MML トラック - OPM#1 チャンネル 3
D	MML トラック - OPM#1 チャンネル 4
E	MML トラック - OPM#1 チャンネル 5
F	MML トラック - OPM#1 チャンネル 6
G	MML トラック - OPM#1 チャンネル 7
H	MML トラック - OPM#1 チャンネル 8
I	MML トラック - OPM#2 チャンネル 1 (I/O ポート 708H-70FH)
J	MML トラック - OPM#2 チャンネル 2
K	MML トラック - OPM#2 チャンネル 3
L	MML トラック - OPM#2 チャンネル 4
M	MML トラック - OPM#2 チャンネル 5
N	MML トラック - OPM#2 チャンネル 6
O	MML トラック - OPM#2 チャンネル 7
P	MML トラック - OPM#2 チャンネル 8

行頭に上記のトラックヘッダを置くと、以降をそのトラックで演奏する MML データと認識します。

トラックヘッダと MML は半角空白やタブなどで区切られている必要があります (改行有効時を除く)。

トラックヘッダを複数記述した場合は、そのトラック全てに同じ MML を定義します。

[例]

```
A I4 cdefgab>c1
```

;OPM#1 のチャンネル 1 (トラック A) に「I4 cdefgab>c1」を定義します。

[例]

```
ABC I4 cdefgab>c1
```

;OPM#1 のチャンネル 1 ~ 3 (トラック A ~ C) に「I4 cdefgab>c1」を定義します。

関連

MML コマンド一覧